

議会報告会 報告書

実施日時	平成28年4月25日（月曜日） 19:00～20:45		
会場	安曇川公民館 ふじのきホール	来場者数	14人
役割分担	班長 大日翼 副班長 梅村勝久 司会進行 大日翼 報告 (議会基本条例) 梅村勝久 (総務) 梅村勝久 (文教福祉) 吹田薫 (産業建設) 森脇徹 (予算) 宮内英明 (決議) 前川勉 記録 山内陽子 受付 清水日出夫、前川勉 挨拶ほか 山川恒雄		
<p>●報告に関する質疑応答</p> <p>問 熊本地方を襲った大地震に関して、21年前の阪神淡路大震災や東北地方震災では5年前で、この度の群発地震を思うと、物資が届いているのに、二重行政などのため、混乱し行き届かない様子が心配。</p> <p>①いざという時、物資が届くのか。</p> <p>②災害時、支援を要する方々への対応は大丈夫か。</p> <p>答 (①について)</p> <p>高島市には活断層があり、心配する声を聞いている。また福井の原発群にも近く福島では、復興というより除染。作業に追われていることを拝見した。議会では、避難路になる国道161号線の早期開通にむけた要望や、耐震化できていない港についても懸念しているところ。2年前になるが、台風18号で広範囲に水害を経験したが、庁舎問題もあって、いざという時の対策会議室が狭く、機能や充分でない。そういうことが大きな課題で、対策はまだできていない。これから。</p> <p>答 (②について)</p> <p>議会基本条例制定に向けて研究していたとき、議会は災害時に何をするかについて、大津市議会に研修に行った。災害時の議会の役割は課題です。東北地方の災害では、首長が先決事項で対応しなければならない状況に陥ったことは理</p>			

解しています。

答 高島市では社協さんが地域の見守り活動を推進されていて、要介護者を地域で支えるきっかけを増やしてきているところ。

問 災害についていつも感じることは、危機管理が本当にできるものかどうか、疑問であること。想定外が多すぎる社会情勢。市の危機管理をどう思うか。

答 大規模な自然災害が頻繁に起こっている昨今、初期段階では、自分の身は自分で守る事をお願いしたい。そういう意味から、区長さんや防災リーダーさんに、地域でのことはお願いをしたい。

問 ふるさと納税は、一過性のもの。今議会で、子育ての政策について可決したが、恒常的政策の財源にこれを当てると、ふるさと納税が減ったら、どうするか。議会ではそういう議論はなかったか。

答 今は子供が減っている環境であり、このことを認めたということです。

問 それでは、その都度どうするか、検討しなくてはならないが、疑問だ。

答 議会には執行権がなく、提案も市からのものであり、議会はそれで良いとしたものです。

答 ふるさと納税は、納税に応じた人が、応援したいメニューを選ぶことができ、子育て応援が圧倒的に多かったという事情です。

答 ふるさと納税は、11項目から選ぶことが可能になっています。

問 公共施設の有料化が始まったところ、首長が変わる度に方針が変わるが、議会は基本的にどのような考えか。

答 海東市長時代は、電気代水道代くらいは、負担してもらおうという方針。次の西川市長時代は、合併前は無料だったと市民からの要望が多いとして、無料になった。福井市長の現在、市の公共施設は、滋賀県平均の2倍ほどの面積を所有し、これらの施設維持に相当の税金を入れなくてはならない。また老朽化や人口減少など総合的に判断して、有料化とすることを、議会が認めた結果です。有料化にあたっては、子供の活動や教育に関わることについては、無料としていますので、ご理解ください。

問 高島市は防災についてあまり熱心ではないと思う。専門家を入れて多様なケースに応じたものを執行部に出してもらい、議会も検討してもらいたい。もっと強いメッセージを出してもらわないと、市民には判らない。災害時の自衛隊との協力関係をもっと築いてもらいたい。今大地震が起きたら、皆さんはどう対応するか。

答 今何ができるか、ということを議会は決めていない。これからの大きな課題です。

原発に隣接している、そういう意味からも更に課題を積み上げて解決できるよう努めていきたい。

大津市議会のように議場にヘルメットや安全靴をおくなど、やはり心構えが大事だと思います。これから専門家の意見を取り入れて努めていきたい。

・区長時代に、防災訓練をしたが、いざやってみると、不平不満ばかりだった。行政が全てに対応できない。家庭で普段からの備えをと思う。自主防災と市の防災の両輪ですすめてもらいたい。

高島市議会議長 秋永 安次 様

平成28年5月9日

高島市議会報告会開催要綱第9条第1項の規定により提出します。

2班 班長 大日 翼